

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年12月04日

計画の名称	上郡町における安全安心で快適な都市環境の創出（防災・安全）（3）												
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	上郡町												
計画の目標	下水道長寿命化対策及び広域化を実施することにより、安全で快適な都市環境を創出する、												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,250	A	1,250	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7	R9	R11
1	上郡浄化センターの処理設備対策率を0%から100%に向上させる。 上郡浄化センターの処理設備の対策率 処理設備の対策済み設備数/処理設備の長寿命化対策箇所（7箇所）	0%	50%	100%
2	上郡浄化センターへの統合箇所を0箇所から2箇所に向上させる。 上郡浄化センターへの統合箇所数 統合箇所数/統合対象箇所（2箇所）	0%	50%	100%
3	雨水ポンプ場のストックマネジメント計画策定箇所を0箇所から2箇所に向上させる。 雨水ポンプ場のストックマネジメント計画の策定率 ストックマネジメント策定箇所/雨水ポンプ場数（2箇所）	0%	0%	100%
4	下水道施設の広域化を図るため、上郡浄化センターへの統合を検討する。 上郡浄化センターへの広域化計画策定率 統合検討施設数/統廃合検討対象施設（1処理施設）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	上郡町	直接	上郡町	終末処 理場	改築	上郡浄化センター電気機 械設備更新工事	水処理設備工事（土木、機械 、電気）	上郡町	■	■	■	■	■	794		策定済
	A07-002	下水道	一般	上郡町	直接	上郡町	管渠（ 污水）	新設	汚水処理施設広域化接続 工事	管渠布設工事	上郡町	■	■	■	■	■	386		—
A07-003	下水道	一般	上郡町	直接	上郡町	ポンプ 場	改築	上郡町公共下水ストック マネジメント計画	計画策定	上郡町				■	■	50		策定済	
	ストックマネジメント																		
A07-004	下水道	一般	上郡町	直接	上郡町	—	—	汚水処理施設広域化検討 業務	計画策定	上郡町			■	■	■	20		—	
											小計						1,250		
											合計						1,250		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	18				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	18				
前年度からの繰越額 (d)	1				
支払済額 (e)	19				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 上郡町における安全安心で快適な都市環境の創出（防災・安全）（3）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性 2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものになっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性等 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(図面) 水の安全・安心基盤整備

